

事業区分	継続	事業名	<b>人件費補正予算</b>			
所管課	42	人事課	(総務部)		宇陀市予算	
事業の目的	①退職による、退職手当特別負担金の補正。 ②18号台風等による農地関連災害対応による職員手当の補正。				区分 No.	区分名
					款	
					項	
					目	
					細目	
根拠条例等						
総合計画						
H25年度事業の概要	①一般管理費 平成25年12月31日付退職者1名による、退職手当特別負担金 3,377千円				財源の内訳 (単位:千円)	
	②農業費、林業費 18号台風等により、農地関連73件、林関係10件の被害を受けこれらの被災確認、災害復旧事業の採択調査、受益者申請取りまとめ、現地調整対応等 職員(時間外勤務)手当 3,781千円				分担金	
事業の成果					使用料	
					国費	
					県費	
					市債	
					その他	
				一般財源	7,158	
				補正額	7,158	
				H25補正前予算額	3,685,123	
				H25現計予算額	3,692,281	
事業の目標					特定財源の状況	
備考						

事業区分	新規	事業名	臨時室生口大野駅案内所係員配置事業				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市予算		
事業の目的	近畿日本鉄道株式会社が実施する駅運営管理体制再構築により、室生口大野駅及び三本松駅の駅係員無配置化が行われることから、当分の間、試験的に室生口大野駅改札出口付近に案内係員を配置し、観光客や一般利用客の利便性等を確保する。ただし、駅構内の安全配慮義務を行うものではない。				区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
細目	80	室生地域事務所企画費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画第5章第5節 公共交通機関の充実						
H25年度事業の概要	近鉄室生口大野駅への案内所係員配置 (H26. 2. 1頃~H26. 3. 31)  係員配置委託料 (60日間) 420千円 案内所設置工事費 1,300千円 駅構内使用料 10千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	観光客及び一般利用客の利便性等の確保が図れる。				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
事業の成果					一般財源	1,730	
					補正額	1,730	
					H25補正前予算額		
					H25現計予算額	1,730	
事業の目標	駅利用者の利便性等の確保				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	本庁電子計算費		
所管課	44	秘書広報情報課 (総務部)	宇陀市予算		
事業の目的	本庁及び地域事務所、各出先機関、各学校を高速ネットワークで接続し、事務の効率化を図ると共に、ホームページによる情報提供を行う。また、住民記録システムや税システム等の基幹システム稼動により、迅速な住民サービスに対応する。情報システムの保守委託料、基幹システムや光ファイバー使用料等を計上している。		区分	No.	区分名
			款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	5	電子計算費
細目	1	本庁電子計算費			
根拠条例等					
総合計画	基本計画 第6章 第2節 (1)行政サービスの向上				
H25年度事業の概要	平成26年4月のWindowsXPサポート終了に備え、端末の更新及び情報系システム(グループウェア・文書管理・公共施設予約)の更新を行った。 事業の実施にあたり、以下の理由により減額が発生した。 ①端末の更新にあたり県共同調達に参加したことによる入札減 ②端末の調達時期の見直しによるリース期間の変更 ▲3,913千円		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	情報系システム及び情報系端末(約6割)のWindows7への対応。		使用料		
			国費		
			県費		
			市債		
			その他		
一般財源	▲ 3,913				
補正額	▲ 3,913				
H25補正前予算額	127,535				
H25現計予算額	123,622				
事業の目標	事務の効率化及び迅速化並びに情報セキュリティの強化を図る。		特定財源の状況		
備考					

事業区分	新規	事業名	伊那佐農産物加工所改修工事		
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市予算		
事業の目的	産業振興会議より提言を受けた宇陀市〇〇王国構想の実現と、農業の活性化のため、第6次産業企業を誘致するため伊那佐文化センターの改修工事を行う。		区分	No	区分名
			款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費			
根拠条例等					
総合計画	基本計画 第5章 地域資源を活かした産業・交流振興のまち				
H25年度事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修工事費</li> <li>・改修設計監理委託料</li> <li>・確認申請等手数料</li> <li>・土地購入費</li> </ul> 内部工事のクリーンルームに係る工事については、専門的工法となるため、民間委託する。 改修内容:屋上防水工事、耐震化工事、上下水道配管工事、屋内改装工事、電気設備工事 購入面積:6649.19㎡		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	新たな農業の仕組みを作ることにより、農業者の所得向上と農業の活性化を図るとともに、新たな雇用機会の場を創出する。		使用料		
			国費		
			県費		
			市債	167,600	
			その他		
			一般財源	5,140	
			補正額	172,740	
H25補正前予算額					
H25現計予算額	172,740				
事業の目標	地域産業の活性化		特定財源の状況		
			合併特例債 167,600千円		
備考					

事業区分	新規	事業名	参議院議員通常選挙			
所管課	821	選挙管理委員会 (総務部総務課内)	宇陀市予算			
事業の目的	平成25年7月28日執行の参議院議員通常選挙の経費を減額する。 公示 平成25年7月 4日(木) 投開票 平成25年7月21日(日)			区分	No.	区分名
				款	2	総務費
				項	4	選挙費
				目	2	参議院議員選挙費
細目	1	参議院議員選挙費				
根拠条例等	公職選挙法					
総合計画						
H25年度事業の概要	参議員議員選挙		当初	補正	財源の内訳 (単位:千円)	
	管理者、立会人等報酬		2,962	-41	分担金	
	職員手当		12,841	-3,345	使用料	
	賃金		899	-117	国 費	▲ 6,374
	報償費(ポスター掲示場謝礼)		27	-13	県 費	
	需用費(投票所物品、入場券印刷等)		1,276	-549	市 債	
	役務費(郵送代、機械点検手数料等)		2,117	-239	その他	
	委託料(ポスター掲示場、開票所設営等)		3,160	-1,308	一般財源	
	使用料、賃借料(会場使用料等)		895	-636	補正額	▲ 6,374
	備品購入費		525	-126	H25補正前予算額	24,702
合 計		24,702	-6,374	H25現計予算額	18,328	
事業の成果	公職選挙法に則り適切に執行する。					
事業の目標					特定財源の状況	
					参議院議員選挙委託金 ▲6,374千円	
備考						

事業区分	継続	事業名	障害者福祉費				
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)				
事業の目的	障害者及び障害児が自立した日常生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障害者等の福祉の増進を図ると共に、障害の有無にかかわらず市民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与することを目的とする。			宇陀市予算			
				区分	No.	区分名	
				款	3	民生費	
				項	1	社会福祉費	
目	2	障害者福祉費					
細目	1	本庁障害者福祉費					
根拠条例等	障害者自立支援法、宇陀市身体障害者ディサービス事業実施要綱等その他事業実施要綱						
総合計画	基本計画 第2章第4節 障害のあるひとがいきいきと暮らせるまち						
H25年度事業の概要	平成25年4月1日施行の障害者総合支援法により、障害福祉サービス等の報酬改定や、制度の周知により、各種福祉事業の利用が増え、扶助費が増額となった。 扶助費 30,000千円増額			財源の内訳 (単位:千円)			
				分担金			
事業の成果	平成25年度当初予算扶助費 572,845千円 平成25年度補正予算扶助費 30,000千円 合計 602,845千円			使用料			
				国費	15,000		
				県費	7,499		
				市債			
				その他			
				一般財源	7,501		
				補正額	30,000		
H25補正前予算額	572,845						
H25現計予算額	602,845						
事業の目標	障害のある人ができるだけ自立した生活が送れるように支援し、すべての人が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現を目指す。			特定財源の状況			
				国庫支出金 更生医療給付費負担金 1,500千円 自立支援給付費負担金 12,825千円 地域生活支援事業費補助金 675千円 県支出金 更生医療給付費負担金 750千円 自立支援給付費負担金 6,412千円 地域生活支援事業費補助金 337千円			
備考							

事業区分	新規	事業名	心身障害者医療費助成事業県費補助金精算による返還				
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市予算		
事業の目的	前年度の心身障害者医療費助成事業県費補助金を精算し、超過交付金額を返還することで適正な補助金の執行を図る。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
					目	2	障害者福祉費
細目	1	本庁障害者福祉費					
根拠条例等	奈良県心身障害者医療費助成事業補助金交付要綱						
総合計画							
H25年度事業の概要	平成24年度心身障害者医療費助成事業県費補助金の精算を行い、超過交付額を返還する。  平成24年度 心身障害者医療費助成事業(県単分) 県単分助成件数 7,608件 県補助基本額 39,709,962円 県補助所要額 19,854,981円 24年度補助金受入済額 20,451,000円 県補助金要返還額 596,019円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	◆過去の心身障害者医療費県費補助金精算状況 平成23年度……459,693円の追加交付 平成24年度……231,800円の還付				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
一般財源	596						
補正額	596						
H25補正前予算額	52,588						
H25現計予算額	53,184						
事業の目標	補助金の適正な執行を図る。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	重度心身障害老人等医療費助成事業県費補助金精算による返還				
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市予算		
事業の目的	前年度の重度心身障害老人等医療費助成事業県費補助金を精算し、超過交付額を返還することで適正な補助金の執行を図る。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
					目	3	老人福祉費
					細目	1	本庁老人福祉費
根拠条例等	奈良県重度心身障害老人等医療費助成事業補助金交付要綱						
総合計画							
H25年度事業の概要	平成24年度重度心身障害老人等医療費県費補助金の精算を行い、超過交付額を返還する。  平成24年度 重度心身障害老人等医療費助成事業(県単分) 県単分助成件数 9,698件 県補助基本額 22,150,309円 県補助所要額 11,075,154円 24年度補助金受入済額 11,669,000円 県補助金要返還額 593,846円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	◆過去の重度心身障害老人等医療費県費補助金精算状況 平成23年度……912,065円の還付 平成24年度……486,747円の還付				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
	一般財源	594					
	補正額	594					
	H25補正前予算額	491,161					
	H25現計予算額	491,755					
事業の目標	補助金の適正な執行を図る。				特定財源の状況		
備考							



事業区分	新規	事業名	国保財政安定化事業支援繰出金				
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市予算		
事業の目的	国保加入者への過度の保険税負担を抑制するとともに、インフルエンザなど予期せぬ支出増に備え、国保財政の基盤の安定を図ることを目的とする。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
					目	5	国民健康保険費
細目	1	本庁国民健康保険費					
根拠条例等							
総合計画							
H25年度事業の概要	国民健康保険は低所得者層の割合、高齢者の割合が高いなど、保険者の責めに帰すことが出来ない特別な事情があることから非常に厳しい財政運営をしいられており、そのことで一定の国民健康保険事業特別会計への繰り出しが認められており、その財源として地方財政措置(交付税)が講じられている。宇陀市において、今までは国保事業特別会計の歳入不足を国保財政調整基金を使って対処してきたが、その基金も少なくなってきたことから、本年度国保税率の改正が行われたところである。しかし、国民健康保険事業の財政状況を考えた場合に国保財政安定化のために国民健康保険事業特別会計へ繰り出す。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	国保被保険者への過度の保険税負担を抑制し、保険者間の保険税率の平準化を図るとともに、国民健康保険事業特別会計の財政安定化を図ることができる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
その他							
一般財源	26,955						
補正額	26,955						
H25補正前予算額							
H25現計予算額	26,955						
事業の目標					特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	繰出金			
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)			
事業の目的	介護保険事業特別会計へ、介護給付費及び地域支援事業等における市負担分を繰り出す。			宇陀市予算		
				区分	No.	区分名
				款	3	民生費
				項	1	社会福祉費
				目	6	介護保険費
細目	1	本庁介護保険費				
根拠条例等	介護保険法第124条					
総合計画						
H25年度事業の概要	当初見込みを超える介護保険給付費等の増加により、一般会計から繰り出す。			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	補正額=決算見込額-当初予算額 ・当初予算額 463,433,000円 ・決算見込額 478,433,000円 ・補正額 15,000,000円			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
				一般財源	15,000	
				補正額	15,000	
H25補正前予算額	463,433					
H25現計予算額	478,433					
事業の目標	介護保険事業の適正な運営を図る。			特定財源の状況		
備考						

事業区分	新規	事業名	市町村子ども・子育て支援制度に係る電子システム構築事業				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	子ども・子育て支援新制度が平成27年4月よりスタートするに伴い、子育て支援業務を円滑に行うため、システムを構築し市・県・国と連携し、子ども・子育て支援サービスの向上を目指す。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
					細目	1	本庁児童福祉総務費
根拠条例等	子ども・子育て支援法						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 「子育て支援が充実したまち」(保育サービスの充実)						
H25年度事業の概要	従来の保育所保育料システムと幼稚園保育料システムを合体させ、それに認定こども園を追加させた「施設型保育給付事業」などの機能をもった電子システムを構築し、質の高い幼児期の教育・保育を提供することをめざし、宇陀市子ども・子育て支援新制度システムの基本設計を行い、平成26年度前半にはテスト運用を開始できるように構築準備を行う。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	新制度によるサービスの認定や給付にかかる手続きをシステム化することで、保護者、事業者、市の役割を明確化し、新しい教育・保育サービスの提供を図ることができる。				使用料		
					国費		
					県費	4,548	
					市債		
					その他		
					一般財源	8,909	
事業の目標	子ども・子育て新制度の円滑な運用が図られる。				補正額	13,457	
					H25補正前予算額		
					H25現計予算額	13,457	
備考					特定財源の状況		
					県:安心子ども基金 4,548千円		

事業区分	継続	事業名	市立保育所の非常勤職員及び臨時職員の配置替え		
所管課	126	子ども支援課 (健康福祉部)	宇陀市予算		
事業の目的	宇陀市立の4保育所(大宇陀保育所、菟田野保育所、榛原北保育園、室生保育所)に配置する保育士、看護師、調理員は、一般職だけでは不足するため、必要員数に見合う人員をそれぞれ臨時職員、または非常勤職員として任用する。		区分	No.	区分名
			款	3	民生費
			項	2	児童福祉費
			目	3	児童福祉施設費
細目	1	本庁児童福祉施設費			
根拠条例等					
総合計画	基本計画 第2章 第5節 「子育て支援が充実したまち」(保育サービスの充実)				
H25年度事業の概要	◆臨時職員賃金 2,998千円 不足人員による配置 999千円×3人=2,998		財源の内訳 (単位:千円)		
	◆非常勤職員 ▲12,546千円 当初予算時 非常勤職員4名 退職2名及び、幼稚園への配置替えに伴う減1名 計 3名分の減額		分担金		
事業の成果	各保育所の運営に必要な人員を確保することができる。		使用料		
			国費		
			県費		
			市債		
			その他		
			一般財源	▲ 9,548	
			補正額	▲ 9,548	
			H25補正前予算額	16,730	
			H25現計予算額	7,182	
事業の目標			特定財源の状況		
備考					

事業区分	新規	事業名	<b>過年度国庫補助金返還金</b>				
所管課	121	厚生保護課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	平成24年度生活保護セーフティネット支援対策等事業費補助金 (適正化事業)精算に伴う返還金				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	3	生活保護費
					目	1	生活保護総務費
					細目	1	生活保護総務費
根拠条例等	生活保護法第19条(第1号法定受託事務)						
総合計画	基本計画 第2章第6節 心豊かな地域福祉の充実						
H25年度 事業の概要	(単位 円)				財源の内訳 (単位:千円)		
	平成24年度予算額	補助金受入額	実績額	差額	分担金		
	1,816,530	1,815,000	1,522,000	293,000	使用料		
事業の成果					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	293	
					補正額	293	
					H25補正 前予算額		
					H25現計 予算額	293	
事業の目標					特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	<b>生活保護支給事務</b>															
所管課	121	厚生保護課	(健康福祉部)		宇陀市予算													
事業の目的	資産や能力の活用、扶養義務者からの援助、その他あらゆる手立てを講じてもお生活していくことが困難な方に対し、国の責任に於いて、最低限度の生活を保障すると共に、自立を助長することを目的とする。				区分 No.	区分名												
					款	3	民生費											
					項	3	生活保護費											
					目	2	扶助費											
細目	1	扶助費																
根拠条例等	生活保護法第19条(第1号法定受託事務)																	
総合計画	基本計画 第2章第6節 心豊かな地域福祉の充実																	
H25年度事業の概要	平成25年4月1日の宇陀市の保護動向については、世帯数309世帯の438人、保護率12.86%であり、奈良県では14.90%である。直近の10月1日現在では306世帯の435人でほぼ横ばいの状況にある。 しかし近年医療扶助は増加傾向にあり、25年3月診療分において入院37人、入院外451人であったが、直近の8月診療分では、入院42人、入院外490人と増加傾向にあるため、医療扶助費に不足が生じる。 (単位 千円)				財源の内訳 (単位:千円)													
					分担金													
事業の成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>予算額</th> <th>決算見込額</th> <th>不足額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療扶助</td> <td>368,226</td> <td>398,226</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>368,226</td> <td>398,226</td> <td>30,000</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	決算見込額	不足額	医療扶助	368,226	398,226	30,000	計	368,226	398,226	30,000	使用料	
						予算額	決算見込額	不足額										
					医療扶助	368,226	398,226	30,000										
					計	368,226	398,226	30,000										
					国費	22,500												
					県費													
					市債													
その他																		
一般財源	7,500																	
補正額	30,000																	
H25補正前予算額	368,226																	
H25現計予算額	398,226																	
事業の目標	医療扶助として、被保護者及び社保支払基金を通じ医療機関に遅延無く支給する。				特定財源の状況													
					生活保護費国庫負担金 22,500千円													
備考																		

事業区分	継続	事業名	農業用施設原材料支給事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市予算		
事業の目的	農業用施設の適正な維持管理を図るため、老朽化した農業用施設の補修や自然災害による農地等の復旧などに要する材料を支給する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	6	農業土木費
					細目	1	農業土木費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 (1)農業生産基盤の整備						
H25年度事業の概要	本年発生した台風18号豪雨災害や集中豪雨等で被災した農業用施設、老朽化した施設の補修において、災害事業対象にならない施設を自治会や各施設利用者で補修するにあたり、材料を支給し受益者が補修工事を行っており、要望が多い。 現場確認結果等からも緊急性が高いことから、追加補正をし、安全で健全な農業経営に寄与する。 地元自治会の(概算)要求額 3,500千円 当初予算額 2,500千円 増額分 1,000千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	適正な農業用施設の維持管理を行うことによって、農業生産の維持と安定化を図るとともに、災害増破を防ぐ。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,000	
補正額	1,000						
H25補正前予算額	2,500						
H25現計予算額	3,500						
事業の目標	農業生産の安定確保				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	道の駅宇陀路大宇陀自動火災報知設備修理			
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市予算	
事業の目的	多くの観光客や運転者が利用する道の駅宇陀路大宇陀「阿騎野宿」自動火災報知機が落雷の影響により、誤作動等の障害の発生が予測されるため、受信機等を修理し、利用者や運営者の安全確保を行う。			区分	No.	区分名
				款	6	商工費
				項	1	商工費
				目	1	商工振興費
細目	1	本庁商工振興費				
根拠条例等						
総合計画	基本計画 第5章 第2節 商工業の活性化					
H25年度事業の概要	機器等修理概要 自動火災報知設備一式 1,440,000円 消費税 72,000円 合計 1,512,000円 ※修理費用については、「建物災害共済保険」にて対応			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	多くの観光客が訪れる場所であり、また運転者の休憩場所として利用されている施設であることから、完全な設備の復旧により、利用者の安全確保、サービスの向上、利用者の増加を目指す。			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他	1,512	
				一般財源		
事業の目標	指定管理者との連携により、利用者の安全確保、サービスの向上を図り、利用者の増加を目指すとともに、活力ある地域づくりと地域に根ざした経済活動を目指す。			補正額	1,512	
				H25補正前予算額		
				H25現計予算額	1,512	
備考				特定財源の状況		
				建物災害共済保険 1,512千円		



事業区分	継続	事業名	<b>保養センター美榛苑事業</b>				
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市予算		
事業の目的	平成22年3月に策定した「宇陀市保養センター事業特別会計経営健全化計画」について、平成24年度決算において、資金不足比率の見通しが計画と大きく乖離していることから、経営健全化計画の変更を行い、平成25年度以降における一時借入金元利償還について、一般会計からの繰出金の増額を行い、平成32年度には資金不足比率を経営健全化基準未満とする。				区分 No.	区分名	
					款	6	商工費
					項	1	商工費
					目	3	美榛苑費
細目	1	美榛苑費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第4節 観光の振興 温泉を活用した観光施設の充実						
H25年度事業の概要	経営健全化繰入額 当初繰入額 100,000,000円 増加分 67,000,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	保養センター美榛苑利用状況 平成24年度利用状況 ・宿泊客数:18,855人 ・宴会客数:21,535人 ・レストラン利用客:24,796人 ・日帰り入浴客:61,352人(内、市内60歳以上30,613人) 企業等償還残額 企業債元利償還残額(平成24年度末) 元金 124,606,747円 利息 6,348,105円 合計 130,954,852円 一時借入金残額 元金 1,358,000,000円(平成24年度末)				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	67,000	
補正額	67,000						
H25補正前予算額	100,000						
H25現計予算額	167,000						
事業の目標	宇陀市の観光の拠点施設として、利用者へのサービス向上を図ることにより、利用者の増加を目指すとともに、保養センター美榛苑の安定運営を図る。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	急傾斜地崩壊対策事業負担金			
所管課	181	建設課	(建設部)		宇陀市予算	
事業の目的	奈良県土砂災害対策基本方針により、代替性のない避難箇所や自力で避難が困難な方が24時間入居している災害時要援護者施設関連を守る対策を先行的に実施。			区分	No.	区分名
				款	7	土木費
				項	3	河川費
				目	1	河川総務費
細目	1	本庁河川総務費				
根拠条例等	奈良県土砂災害対策基本方針					
総合計画	基本計画第3章第5節 安全安心な暮らしの実現(1)災害の未然防止対策の推進					
H25年度事業の概要	新規事業 代替性のない避難施設を最優先に実施 菟田野下芳野地区(菟田野芳野地区体育館) 菟田野佐倉地区(菟田野農家高齢者創作館) 大宇陀野依地区(野依小学校)			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	災害時の避難施設において、県施工により対策工事を実施することで、地域住民の安全を確保する。			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
				一般財源	4,882	
補正額	4,882					
H25補正前予算額	4,200					
H25現計予算額	9,082					
事業の目標	土砂災害対策基本方針に基づき、避難施設において、対策工事を行い地域住民を土砂災害等から守り、安全を確保する。			特定財源の状況		
備考						

事業区分	継続	事業名	スクールバス運行事業			
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算	
事業の目的	29台のスクールバスを運行し、幼児、児童、生徒の登下校を支援する。			区分	No.	区分名
				款	9	教育費
				項	1	教育総務費
				目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費				
根拠条例等						
総合計画	基本計画 第4章第3節 (3)幼稚園・小学校の学習環境の充実					
H25年度事業の概要	大宇陀地域 8台(大宇陀小、大宇陀幼) 菟田野地域 2台(菟田野小) 榛原地域 7台(榛原東小、榛原西小、榛原東幼、榛原西幼、榛原中) 室生地域 12台(室生西小、室生東小、室生幼、室生中)			財源の内訳 (単位:千円)		
	各校、各園により、主要国道、県道、市道をスクールバスの運行ルートを設定し、遠距離通学者の登下校を支援している。 また、通学通園以外の時間帯に、各校、各園における校外学習の際の移動手段としてスクールバスを活用している。			分担金		
事業の成果	平成25年度当初の台数(乗車数) 29台(722人)			使用料		
	幼保(253人) 大宇陀幼、保・・・145人、榛原東幼・・・24人 榛原西幼・・・25人、室生幼、保・・・59人 小学校(391人) 大宇陀小・・・126人、菟田野小・・・72人 榛原東小・・・42人、榛原西小・・・57人 室生西小・・・25人、室生東小・・・69人 中学校(78人) 榛原中・・・14人、室生中・・・64人			国費		
				県費		
				市債		
				その他		
			一般財源	1,600		
			補正額	1,600		
			H25補正前予算額	1,460		
			H25現計予算額	3,060		
事業の目標	遠距離通学者等の登下校を、スクールバスを運行し支援する。			特定財源の状況		
備考	今回の補正については、スクールバス及び公用車の修繕費 主な修繕内容 【スクールバス】エンジン不良による修理(2台)、サスペンションの折損による修理(2台)、パワステオイル漏れ修理、バッテリー不調による修理、パーキングブレーキ修理 等 【公用車】EGコントロールコンピューター交換					

事業区分	継続	事業名	学校施設整備事業【榛原小学校体育館改築】				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)				
事業の目的	学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であり、災害時には地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすことから、施設の耐震化を進める。			宇陀市予算			
				区分	No.	区分名	
				款	9	教育費	
				項	2	小学校費	
				目	4	耐震化事業費	
細目	1	耐震化事業費					
根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H25年度事業の概要	体育館改築・太陽光発電設置・防火水槽設置・その他外構整備 394,827千円			財源の内訳 (単位:千円)			
				分担金			
事業の成果	平成23年度において、全ての学校施設の耐震2次診断を行った。これにより、市内の学校施設で耐震が必要な施設が明確となり、国が示す平成27年度に耐震化率100%に向け、宇陀市耐震推進計画を策定し計画的に耐震化を進める。			使用料			
				国費	163,003		
				県費			
				市債	231,000		
				その他			
				一般財源	824		
				補正額	394,827		
H25補正前予算額	236,358						
H25現計予算額	631,185						
事業の目標	IS値が極端に低いことから、耐震補強を行うことが困難であり現在の建物及びプールを解体、改築をおこなう。又、地域防災拠点となることから、防災設備(防火水槽・太陽光発電)も併せて整備する。			特定財源の状況			
				学校施設環境改善交付金 194,193千円			
備考	現施設データ S52.10建築 PC造 1,298㎡ Is値0.03 工事概要 体育館新築工事 RC造(一部SRC造)1階床面積 1,295㎡(2階61㎡) 太陽光発電装置 20kW 防火水槽80ℓ 外部倉庫 外部トイレ 外構工事一式			公立学校施設整備費負担金 ▲31,190千円			
				全国防災事業債 378,200千円			
				緊急防災・減災事業債 51,600千円			
				合併特例債 ▲198,800千円			

事業区分	継続	事業名	学校施設整備事業【榛原東小学校体育館耐震補強】				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であり、災害時には地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすことから、施設の耐震化を進める。				区分 No.	区分名	
					款	9	教育費
					項	2	小学校費
					目	4	耐震化事業費
細目	1	耐震化事業費					
根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H25年度事業の概要	体育館耐震補強・太陽光発電設置・その他外構整備 158,296千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成23年度において、全ての学校施設の耐震2次診断を行った。これにより、市内の学校施設で耐震が必要な施設が明確となり、国が示す平成27年度に耐震化率100%に向け、宇陀市耐震推進計画を策定し計画的に耐震化を進める。				使用料		
					国費	36,364	
					県費		
					市債	116,200	
					その他		
					一般財源	5,732	
事業の目標	IS値が国の示す基準より低いことから、耐震補強工事及び大規模改修工事を実施する。 又、地域防災拠点となることから、防災設備(太陽光発電)も併せて整備する。				補正額	158,296	
					H25補正前予算額	15,300	
					H25現計予算額	173,596	
備考	現施設データ S54.5建築 RC造 1,299㎡ Is値0.25 工事概要 耐震補強工事 大規模改修工事 太陽光発電装置 10kW 外構工事一式				特定財源の状況		
					学校施設環境改善交付金	36,364千円	
					全国防災事業債	43,600千円	
					緊急防災・減災事業債	87,100千円	
					合併特例債	▲14,500千円	

事業区分	新規	事業名	学校施設整備事業【室生西小学校体育館改築】				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であり、災害時には地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすことから、施設の耐震化を進める。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	2	小学校費
					目	4	耐震化事業費
細目	1	耐震化事業費					
根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H25年度事業の概要	体育館改築等設計業務 40,760千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成23年度において、全ての学校施設の耐震2次診断を行った。これにより、市内の学校施設で耐震が必要な施設が明確となり、国が示す平成27年度に耐震化率100%に向け、宇陀市耐震推進計画を策定し計画的に耐震化を進める。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債	41,100	
					その他		
					一般財源	▲ 340	
補正額	40,760						
H25補正前予算額							
H25現計予算額	40,760						
事業の目標	IS値が国の示す基準より低く、平成28年度の再編統合に向けて体育館並びに付属棟の改築工事の設計を行う。				特定財源の状況		
					緊急防災・減災事業債 41,100千円		
備考	現施設データ S49.12建築 S造 564㎡ Is値0.15						
	工事概要 体育館・付属棟新築工事 運動場整備工事 外構工事						

事業区分	継続	事業名	学校施設整備事業【室生中学校体育館耐震補強】				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であり、災害時には地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすことから、施設の耐震化を進める。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	3	中学校費
					目	4	耐震化事業費
細目	1	耐震化事業費					
根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H25年度事業の概要	体育館耐震補強工事・校舎トイレ改修 130,202千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成23年度において、全ての学校施設の耐震2次診断を行った。これにより、市内の学校施設で耐震が必要な施設が明確となり、国が示す平成27年度に耐震化率100%に向け、宇陀市耐震推進計画を策定し計画的に耐震化を進める。				使用料		
					国費	19,839	
					県費		
					市債	109,500	
					その他		
					一般財源	863	
					補正額	130,202	
H25補正前予算額	8,300						
H25現計予算額	138,502						
事業の目標	IS値が国の示す基準より低く、体育館の耐震補強工事を行う。				特定財源の状況		
					学校施設環境改善交付金	19,839千円	
備考	現施設データ S42.3建築 RC造 775㎡ Is値0.12 工事概要 体育館 耐震補強工事 大規模改修工事				全国防災事業債	19,300千円	
					緊急防災・減災事業債	98,000千円	
					合併特例債	▲7,800千円	

事業区分	継続	事業名	<b>市立幼稚園への非常勤職員の配置替え</b>				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	幼稚園に配置する幼稚園教諭が一般職員だけでは不足する為、非常勤職員を保育所より配置替えする。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	4	幼稚園費
					目	1	幼稚園費
細目	1	本庁幼稚園費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第4章第3節 (1)健やかに育つための教育内容の充実						
H25年度事業の概要	当初は保育所費で予算化してあったが人事配置により幼稚園費となる。				財源の内訳 (単位:千円)		
		当初	補正後	補正額	分担金		
	幼稚園教諭	1名 3,788,400 円	2名 8,063,200 円	1名 4,274,800 円	使用料		
	調理員	1名 2,501,600 円	1名 2,501,600 円		国費		
	合計	2名 6,290,000 円	3名 10,564,800 円	1名 4,274,800 円	県費		
事業の成果	各幼稚園の運営に必要な人員を確保することにより、子ども達に積極的な関わりができ、よりきめ細やかな保育をすることができる。				一般財源	4,275	
					補正額	4,275	
					H25補正前予算額	6,536	
					H25現計予算額	10,811	
事業の目標	幼児教育の推進を図る				特定財源の状況		
備考							



事業区分	新規	事業名	旧伊那佐小学校体育館改修事業				
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	市民が年齢や体力に応じ、スポーツやレクリエーションを気軽に楽しめる施設の整備充実を図る。				区分 No.	区分名	
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	1	社会教育総務費
					細目	63	伊那佐文化センター費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第4章第5節 スポーツ・レクリエーションの充実 スポーツ施設の整備・充実						
H25年度事業の概要	(修繕関係) ・電気復旧 ・水道復旧 ・消防設備(自動火災報知機等)修繕 ・ガラス修繕 ・こまどり回線移設 (改修工事関係) ・エアコン設置工事 ・外構工事				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	休止状態の体育館を修繕し社会体育施設として利用することによって、市民のスポーツの振興及び健康の維持増進を図る。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債	4,700	
					その他		
					一般財源	7,760	
事業の目標	施設の整備充実と効果的な管理運営に努め、その利用増進を図る。				補正額	12,460	
					H25補正前予算額		
					H25現計予算額	12,460	
備考					特定財源の状況		
					合併特例債 4,700千円		

事業区分	新規	事業名	<b>農地・農業用施設災害復旧事業</b>				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市予算		
事業の目的	平成25年9月15日～17日に日本列島を縦断した台風18号による豪雨により、農地・農業用施設に甚大な被害を受け、農業生産の維持を図るとともに、農業経営の安定を図るため、被災者より復旧申請のあった被災箇所の復旧を行う。				区分 No.	区分名	
					款	10	災害復旧費
					項	1	農林業施設災害復旧費
					目	1	農業災害復旧費
細目	1	農業災害復旧費					
根拠条例等							
総合計画							
H25年度事業の概要	農地(田)災害5件7工区 13,600,000円 農業施設災害4件4工区 18,000,000円(農道災害 2件2工区6,500,000円) (水路災害 1件1工区2,500,000円) (頭首工災害1件1工区9,000,000円) 工事計 9件 11工区 31,600,000円 査定測量設計業務委託一式 500,000円 合計 32,100,000円 ※実施予定額32,100,000円-当初予算額3,500,000円=増額28,600,000円 農地災害 県費 13,600,000円×93% = 12,648,000円 市費 13,600,000円×3.5% = 476,000円 分担金 13,600,000円×3.5% = 476,000円 農業施設災害 県費 18,000,000円×93% = 16,740,000円 市費 18,000,000円×4.55% = 819,000円 分担金 18,000,000円×2.45% = 441,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金	422	
事業の成果	被災した農地・農業用施設を復旧することにより、農業生産の維持と安定化が図れる。				使用料		
					国費		
					県費	27,588	
					市債		
					その他		
				一般財源	590		
				補正額	28,600		
				H25補正前予算額	3,500		
				H25現計予算額	32,100		
事業の目標	現状復旧				特定財源の状況		
					農地農業用施設災害復旧事業分担金 422千円 農地農業用施設災害復旧事業補助金 27,588千円		
備考	(10月9日交付・施行) 激甚災害指定による県補助率の特例措置(かさ上げ) 農地災害 県補助金 通常50%→93% 農業施設災害 通常65%→93%						

事業区分	新規	事業名	<b>公共土木災害復旧事業</b>												
所管課	181	建設課	(建設部)		宇陀市予算										
事業の目的	災害の速やかな復旧を行い生活の安全を確保する。				区分 No.	区分名									
					款	10	災害復旧費								
					項	2	公共土木施設災害復旧費								
					目	1	公共土木施設災害復旧費								
細目	1	本庁公共土木施設災害復旧費													
根拠条例等	公共土木施設災害復旧事業国庫負担法														
総合計画	基本計画第3章第2節(2)生活道路の整備、道路の安全性、利便性の向上														
H25年度事業の概要	「公共土木施設災害復旧事業(国土交通省)」 公共土木施設災害復旧工事 9ヶ所 82,400千円 単独災害復旧工事 2ヶ所 1,000千円 崩土撤去等 37ヶ所 15,167千円				財源の内訳 (単位:千円)										
	<table border="1"> <tr> <th>節</th> <th>千円</th> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>1,375</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>15,167</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>83,400</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>99,942</td> </tr> </table>				節	千円	需用費	1,375	役務費	15,167	工事請負費	83,400	計	99,942	分担金 使用料 国費 42,234 県費 市債 34,200 その他
節	千円														
需用費	1,375														
役務費	15,167														
工事請負費	83,400														
計	99,942														
事業の成果	市が管理する市道、河川で災害で被災した箇所を速やかに復旧し、二次災害の防止及び生活の安全を確保する。				一般財源 23,508 補正額 99,942 H25補正前予算額 20,000 H25現計予算額 119,942										
事業の目標	災害での被災箇所を速やかに復旧し、二次災害の防止及び生活の安全を確保する。				特定財源の状況 公共土木施設災害復旧費負担金 42,234千円 公共土木施設災害復旧費 34,200千円										
備考															

事業区分	新規	事業名	公立学校施設災害復旧事業【旧田原小学校】																															
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)																															
事業の目的	台風18号により、旧田原小学校西側法面が崩壊し、民地に土砂が流出した。被害が広範囲に広がらないよう、災害復旧工事を行う。				宇陀市予算																													
					区分	No.	区分名																											
					款	10	災害復旧費																											
					項	2	公共土木施設災害復旧費																											
					目	1	公共土木施設災害復旧費																											
細目	1	本庁公共土木施設災害復旧費																																
根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目																																	
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実																																	
H25年度事業の概要	災害復旧工事			財源の内訳 (単位:千円)																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>細節</th> <th>科目</th> <th>要求額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事請負費</td> <td>災害復旧工事</td> <td>3,000千円</td> <td>災害復旧工事</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>3,000千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	細節	科目	要求額	備考	工事請負費	災害復旧工事	3,000千円	災害復旧工事	合計		3,000千円		<table border="1"> <tbody> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td>3,000</td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>補正額</td><td>3,000</td></tr> <tr><td>H25補正前予算額</td><td></td></tr> <tr><td>H25現計予算額</td><td>3,000</td></tr> </tbody> </table>		分担金		使用料		国費		県費		市債	3,000	その他		一般財源		補正額	3,000	H25補正前予算額		H25現計予算額
細節	科目	要求額	備考																															
工事請負費	災害復旧工事	3,000千円	災害復旧工事																															
合計		3,000千円																																
分担金																																		
使用料																																		
国費																																		
県費																																		
市債	3,000																																	
その他																																		
一般財源																																		
補正額	3,000																																	
H25補正前予算額																																		
H25現計予算額	3,000																																	
事業の成果																																		
事業の目標				特定財源の状況 公共土木施設災害復旧債 3,000千円																														
備考	災害復旧工事概要 延長 1工区 12.7m 2工区 4.7m 盛り土 255.5㎡																																	

事業区分	新規	事業名	平成24年度国庫補助金等の精算				
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市予算		
事業の目的	前年度の療養給付費等負担金等を精算し、超過交付額を返還することで適正な補助金の執行を図る。				区分 No.	区分名	
					款	11	諸支出金
					項	1	償還金及び還付加算金
					目	3	償還金
細目	1	償還金					
根拠条例等	国民健康保険法、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律						
総合計画							
H25年度事業の概要	平成24年度国庫補助金等の精算を行い、超過交付額を返還する。 ①療養給付費等負担金の精算 $673,665,894\text{円(受入済額)} - 634,099,221\text{円(確定額)} = 39,566,673\text{円(要返還額)}$ ②高齢者医療制度円滑運営事業費補助金の精算 $240,390\text{円(受入済額)} - 186,534\text{円(確定額)} = 53,856\text{円(要返還額)}$ ③特定健康診査等負担金(国及び県)の精算 $(3,607,000\text{円(受入済額)} - 2,987,000\text{円(確定額)}) \times 2 = 1,240,000\text{円(要返還額)}$				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成23年度の国庫補助等の精算状況 出産育児一時金補助金 100,000円 高齢者医療制度円滑運営事業補助金 36,290円 特定健康診査等負担金 480,000円 療養給付等負担金 56,262,552円 それぞれ返還				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	40,860	
補正額	40,860						
H25補正前予算額	1						
H25現計予算額	40,861						
事業の目標	補助金等の適正な執行を図る。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	居宅介護サービス給付事業			
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)			
事業の目的 要介護者が、自宅で介護を受けられる訪問サービス、介護施設や病院でリハビリ等を日帰りで受けられる通所サービスを利用し、心身の機能回復及び維持することを目的とする。			宇陀市予算			
			区分	No.	区分名	
			款	2	保険給付費	
			項	1	介護サービス等諸費	
			目	1	居宅介護サービス給付費	
細目	1	居宅介護サービス給付費				
根拠条例等	介護保険法第41条					
総合計画	第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち (1)高齢者福祉サービスの充実					
H25年度事業の概要	当初見込を超える利用件数の増加により、給付費が不足となるため。 【参考】前年度の同期間での比較 ・H24年4月～9月の件数 8, 843件 ・H25年4月～9月の件数 9, 865件			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	補正額＝決算見込額－当初予算額 ・当初予算額 920,605,000円 ・決算見込額 981,705,000円 ・補正額 61,100,000円			使用料		
				国費	12,220	
				県費	7,638	
				市債		
				その他	25,356	
				一般財源	15,886	
				補正額	61,100	
H25補正前予算額	920,605					
H25現計予算額	981,705					
事業の目標	介護サービス事業所に実地指導を行うなどして、介護報酬の点検をし給付の適正化に努める。			特定財源の状況		
				国庫負担金 現年度分介護給付費負担金 12,220千円 支払基金交付金 現年度分介護給付費交付金 17,719千円 県負担金 現年度分介護給付費負担金 7,638千円 繰入金 現年度分介護給付費繰入金 7,637千円		
備考						

事業区分	継続	事業名	地域密着型居宅介護サービス事業		
所管課	127	介護福祉課 (健康福祉部)	宇陀市予算		
事業の目的	認知症対応型共同生活介護・通所介護など、認知状態の要介護者が小規模な生活の場において、家庭的な環境のもとで生活を送れることを目的とする。		区分	No.	区分名
			款	2	保険給付費
			項	1	介護サービス等諸費
			目	3	地域密着型居宅介護サービス費
細目	1	地域密着型居宅介護サービス費			
根拠条例等	介護保険法第42条の2				
総合計画	第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち (1)高齢者福祉サービスの充実				
H25年度事業の概要	月当たりの利用者(入居者)が、当初見込みよりも減ったため。 ※当初見込んでいたグループホームの1つが、介護職員採用の関係で稼働が遅れたため。		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	補正額=決算見込額-当初予算額 ・当初予算額 258,531,000円 ・決算見込額 240,531,000円 ・補正額 ▲18,000,000円		使用料		
			国費		▲ 3,600
			県費		▲ 2,250
			市債		
			その他		▲ 7,470
			一般財源		▲ 4,680
			補正額		▲ 18,000
			H25補正前予算額		258,531
H25現計予算額		240,531			
事業の目標	介護サービス事業所に実地指導を行うなどして、介護報酬の点検をし給付の適正化に努める。		特定財源の状況		
			国庫負担金 現年度分介護給付費負担金 ▲3,600千円 支払基金交付金 現年度分介護給付費交付金 ▲5,220千円 県負担金 現年度分介護給付費負担金 ▲2,250千円 繰入金 現年度分介護給付費繰入金 ▲2,250千円		
備考					

事業区分	継続	事業名	施設介護サービス事業		
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		
			宇陀市予算		
事業の目的	要介護者が、介護老人福祉施設(自宅で介護できず、寝たきりや認知症の高齢者のための入所施設)、介護老人保健施設(症状が慢性期にある高齢者にリハビリを重点に置いた看護・介護施設)、介護療養型医療施設(長期療養が必要な高齢者を入所させる医療施設)で施設入所サービスを利用できることを目的とする。		区分	No.	区分名
			款	2	保険給付費
			項	1	介護サービス等諸費
			目	5	施設介護サービス給付費
細目	1	施設介護サービス給付費			
根拠条例等	介護保険法第48条				
総合計画	第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち (1)高齢者福祉サービスの充実				
H25年度事業の概要	当初見込を超える利用者(入居者)の増加により、給付費が不足となるため。 【参考】前年度の同期間での比較 ・H24年4月～9月の件数 2,901件 ・H25年4月～9月の件数 3,006件		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	補正額=決算見込額-当初予算額 ・当初予算額 1,450,445,000円 ・決算見込額 1,523,545,000円 ・補正額 73,100,000円		使用料		
			国費	10,965	
			県費	12,793	
			市債		
			その他	30,336	
			一般財源	19,006	
			補正額	73,100	
H25補正前予算額	1,450,445				
H25現計予算額	1,523,545				
事業の目標	介護サービス事業所に実地指導を行うなどして、介護報酬の点検をし給付の適正化に努める。		特定財源の状況		
			国庫負担金 現年度分介護給付費負担金 10,965千円 支払基金交付金 現年度分介護給付費交付金 21,199千円 県負担金 現年度分介護給付費負担金 12,793千円 繰入金 現年度分介護給付費繰入金 9,137千円		
備考					



事業区分	継続	事業名	居宅介護福祉用具購入事業		
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		
			宇陀市予算		
事業の目的	在宅の要介護者に「排せつ」や「入浴」などに使用する貸与になじまない福祉用具(特定福祉用具)を購入した場合に、費用(10万円以内)の一部を支給することを目的とする。		区分	No.	区分名
			款	2	保険給付費
			項	1	介護サービス等諸費
			目	7	居宅介護福祉用具購入費
細目	1	居宅介護福祉用具購入費			
根拠条例等	介護保険法第44条				
総合計画	第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち (1)高齢者福祉サービスの充実				
H25年度事業の概要	当初見込を超える利用件数の増加により、給付費が不足となるため。 【参考】前年度の同期間での比較 ・H24年4月～9月の件数 61件 ・H25年4月～9月の件数 86件		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	補正額=決算見込額-当初予算額 ・当初予算額 4,300,000円 ・決算見込額 5,600,000円 ・補正額 1,300,000円		使用料		
			国費	260	
			県費	162	
			市債		
			その他	540	
			一般財源	338	
			補正額	1,300	
H25補正前予算額	4,300				
H25現計予算額	5,600				
事業の目標	介護サービス事業所に実地指導を行うなどして、介護報酬の点検をし給付の適正化に努める。		特定財源の状況		
			国庫負担金 現年度分介護給付費負担金 260千円 支払基金交付金 現年度分介護給付費交付金 377千円 県負担金 現年度分介護給付費負担金 162千円 繰入金 現年度分介護給付費繰入金 163千円		
備考					

事業区分	継続	事業名	居宅介護住宅改修事業			
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)			
<b>事業の目的</b> 要介護者の居宅での生活上の障壁を軽減するために、手すりの取り付けや段差解消等を行った場合に、費用(20万円以内)の一部を支給することを目的とする。			宇陀市予算			
			区分	No.	区分名	
			款	2	保険給付費	
			項	1	介護サービス等諸費	
			目	8	居宅介護住宅改修費	
細目	1	居宅介護住宅改修費				
根拠条例等	介護保険法第45条					
総合計画	第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち (1)高齢者福祉サービスの充実					
H25年度事業の概要	当初見込を超える利用件数の増加により、給付費が不足となるため。 【参考】前年度の同期間での比較 ・H24年4月～9月の件数 52件 ・H25年4月～9月の件数 73件			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	補正額=決算見込額-当初予算額 ・当初予算額 10,700,000円 ・決算見込額 13,400,000円 ・補正額 2,700,000円			使用料		
				国費	540	
				県費	337	
				市債		
				その他	1,121	
				一般財源	702	
				補正額	2,700	
H25補正前予算額	10,700					
H25現計予算額	13,400					
事業の目標	介護サービス事業所に実地指導を行うなどして、介護報酬の点検をし給付の適正化に努める。			特定財源の状況		
				国庫負担金 現年度分介護給付費負担金 540千円 支払基金交付金 現年度分介護給付費交付金 783千円 県負担金 現年度分介護給付費負担金 337千円 繰入金 現年度分介護給付費繰入金 338千円		
備考						

事業区分	継続	事業名	居宅介護サービス計画事業				
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	居宅介護支援事業者が、要介護認定者に対して介護サービスを受けるために必要な居宅介護サービス計画(ケアプラン)を作成することを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	2	保険給付費
					項	1	介護サービス等諸費
					目	9	居宅介護サービス計画給付費
細目	1	居宅介護サービス計画給付費					
根拠条例等	介護保険法第46条						
総合計画	第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち (1)高齢者福祉サービスの充実						
H25年度事業の概要	当初見込を超える認定件数の増加により、給付費が不足となるため。 【参考】前年度の同期間での比較 ・H24年4月～9月の件数 3,766件 ・H25年4月～9月の件数 4,192件				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	補正額=決算見込額-当初予算額 ・当初予算額 103,491,000円 ・決算見込額 112,691,000円 ・補正額 9,200,000円				使用料		
					国費	1,840	
					県費	1,150	
					市債		
					その他	3,818	
					一般財源	2,392	
					補正額	9,200	
H25補正前予算額	103,491						
H25現計予算額	112,691						
事業の目標	介護サービス事業所に実地指導を行うなどして、介護報酬の点検をし給付の適正化に努める。				特定財源の状況		
					国庫負担金 現年度分介護給付費負担金 1,840千円 支払基金交付金 現年度分介護給付費交付金 2,668千円 県負担金 現年度分介護給付費負担金 1,150千円 繰入金 現年度分介護給付費繰入金 1,150千円		
備考							

事業区分	継続	事業名	介護予防サービス給付事業		
所管課	127	介護福祉課 (健康福祉部)	宇陀市予算		
事業の目的	要支援者が、自宅で介護を受けられる訪問サービス、介護施設や病院でリハビリ等を日帰りで受けられる通所サービスを利用し、心身の機能回復及び維持することを目的とする。		区分	No.	区分名
			款	2	保険給付費
			項	2	介護予防サービス等費
			目	1	介護予防サービス給付費
細目	1	介護予防サービス給付費			
根拠条例等	介護保険法第53条				
総合計画	第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち (1)高齢者福祉サービスの充実				
H25年度事業の概要	当初見込よりも、要支援対象の方の利用件数が減ったため。 【参考】前年度の同期間での比較 ・H24年4月～9月の件数 4,675件 ・H25年4月～9月の件数 4,473件		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	補正額=決算見込額-当初予算額 ・当初予算額 230,901,000円 ・決算見込額 217,901,000円 ・補正額 ▲13,000,000円		使用料		
			国費		▲ 2,600
			県費		▲ 1,625
			市債		
			その他		▲ 5,395
			一般財源		▲ 3,380
			補正額		▲ 13,000
H25補正前予算額		230,901			
H25現計予算額		217,901			
事業の目標	介護サービス事業所に実地指導を行うなどして、介護報酬の点検をし給付の適正化に努める。		特定財源の状況		
			国庫負担金 現年度分介護給付費負担金 ▲2,600千円		
備考			支払基金交付金 現年度分介護給付費交付金 ▲3,770千円		
			県負担金 現年度分介護給付費負担金 ▲1,625千円		
			繰入金 現年度分介護給付費繰入金 ▲1,625千円		

事業区分	継続	事業名	地域密着型介護予防サービス事業		
所管課	127	介護福祉課 (健康福祉部)	宇陀市予算		
事業の目的	認知症対応型共同生活介護・通所介護など、認知状態の要支援者が小規模な生活の場において、家庭的な環境のもとで生活を送れることを目的とする。		区分	No.	区分名
			款	2	保険給付費
			項	2	介護予防サービス等費
			目	3	地域密着型介護予防サービス給付費
細目	1	地域密着型介護予防サービス給付費			
根拠条例等	介護保険法第54条の2				
総合計画	第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち (1)高齢者福祉サービスの充実				
H25年度事業の概要	月当たりの利用者(入居者)が、当初見込みよりも減ったため。 ※要支援の利用者(入居者)が年の途中で退所したため。		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	補正額=決算見込額-当初予算額 ・当初予算額 3,923,000円 ・決算見込額 2,423,000円 ・補正額 ▲1,500,000円		使用料		
			国費		▲ 300
			県費		▲ 187
			市債		
			その他		▲ 623
			一般財源		▲ 390
			補正額		▲ 1,500
			H25補正前予算額		3,923
H25現計予算額		2,423			
事業の目標	介護サービス事業所に実地指導を行うなどして、介護報酬の点検をし給付の適正化に努める。		特定財源の状況		
			国庫負担金		
備考			現年度分介護給付費負担金	▲300千円	
			支払基金交付金		
			現年度分介護給付費交付金	▲435千円	
			県負担金		
			現年度分介護給付費負担金	▲187千円	
			繰入金		
			現年度分介護給付費繰入金	▲188千円	

事業区分	継続	事業名	介護予防住宅改修事業		
所管課	127	介護福祉課 (健康福祉部)	宇陀市予算		
事業の目的	要支援者の居宅での生活上の障壁を軽減するために、手すりの取り付けや段差解消等を行った場合に、費用(20万円以内)の一部を支給することを目的とする。		区分	No.	区分名
			款	2	保険給付費
			項	2	介護予防サービス等費
			目	6	介護予防住宅改修費
細目	1	介護予防住宅改修費			
根拠条例等	介護保険法第57条				
総合計画	第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち (1)高齢者福祉サービスの充実				
H25年度事業の概要	当初見込を超える利用件数の増加により、給付費が不足となるため。 【参考】前年度の同期間での比較 ・H24年4月～9月の件数 57件 ・H25年4月～9月の件数 68件		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	補正額=決算見込額-当初予算額 ・当初予算額 13,011,000円 ・決算見込額 13,811,000円 ・補正額 800,000円		使用料		
			国費		160
			県費		100
			市債		
			その他		332
			一般財源		208
			補正額		800
H25補正前予算額		13,011			
H25現計予算額		13,811			
事業の目標	介護サービス事業所に実地指導を行うなどして、介護報酬の点検をし給付の適正化に努める。		特定財源の状況		
			国庫負担金 現年度分介護給付費負担金 160千円 支払基金交付金 現年度分介護給付費交付金 232千円 県負担金 現年度分介護給付費負担金 100千円 繰入金 現年度分介護給付費繰入金 100千円		
備考					

事業区分	継続	事業名	介護予防サービス計画事業		
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		
事業の目的 居宅介護支援事業者が、要支援認定者に対して介護サービスを受けるために必要な居宅介護サービス計画(ケアプラン)を作成することを目的とする。			宇陀市予算		
			区分	No.	区分名
			款	2	保険給付費
			項	2	介護予防サービス等費
			目	7	介護予防サービス計画給付費
細目	1	介護予防サービス計画給付費			
根拠条例等	介護保険法第58条				
総合計画	第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち (1)高齢者福祉サービスの充実				
H25年度事業の概要	当初見込よりも認定件数が減ったため。 【参考】前年度の同期間での比較 ・H24年4月～9月の件数 3, 228件 ・H25年4月～9月の件数 3, 062件			財源の内訳 (単位:千円)	
	事業の成果	補正額=決算見込額-当初予算額 ・当初予算額 28,100,000円 ・決算見込額 27,800,000円 ・補正額 ▲300,000円			分担金
使用料					
国費		▲ 60			
県費		▲ 37			
市債					
その他		▲ 125			
一般財源		▲ 78			
補正額	▲ 300				
H25補正前予算額	28,100				
H25現計予算額	27,800				
事業の目標	介護サービス事業所に実地指導を行うなどして、介護報酬の点検をし給付の適正化に努める。			特定財源の状況	
	備考				国庫負担金 現年度分介護給付費負担金 ▲60千円 支払基金交付金 現年度分介護給付費交付金 ▲87千円 県負担金 現年度分介護給付費負担金 ▲37千円 繰入金 現年度分介護給付費繰入金 ▲38千円

事業区分	継続	事業名	高額介護サービス事業				
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	要介護者が、同じ月に利用したサービスの1割の自己負担額の合計が高額になり、ある一定額を超えたときは、超えた分を「高額介護サービス費」として給付し、利用者の負担軽減を目的とする。				区分 No.	区分名	
					款	2	保険給付費
					項	3	高額介護サービス等費
					目	1	高額介護サービス費
					細目	1	高額介護サービス費
根拠条例等	介護保険法第51条						
総合計画	第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち (1)高齢者福祉サービスの充実						
H25年度事業の概要	当初見込を超える高額対象者の増加により、給付費が不足となるため。 【参考】前年度の同期間での比較 ・H24年4月～9月の件数 2,875件 ・H25年4月～9月の件数 2,960件				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	補正額＝決算見込額－当初予算額 ・当初予算額 68,689,000円 ・決算見込額 70,589,000円 ・補正額 1,900,000円				使用料		
					国費	380	
					県費	237	
					市債		
					その他	789	
					一般財源	494	
					補正額	1,900	
H25補正前予算額	68,689						
H25現計予算額	70,589						
事業の目標	介護サービス事業所に実地指導を行うなどして、介護報酬の点検をし給付の適正化に努める。				特定財源の状況		
					国庫負担金 現年度分介護給付費負担金 380千円 支払基金交付金 現年度分介護給付費交付金 551千円 県負担金 現年度分介護給付費負担金 237千円 繰入金 現年度分介護給付費繰入金 238千円		
備考							



事業区分	継続	事業名	高額医療合算介護サービス事業			
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)			
事業の目的 要介護者が、同じ医療保険の世帯内で、医療と介護の両方をあわせた年間の自己負担額が、限度額を500円以上超えたときは、超えた分を「高額医療合算介護サービス費」として給付し、利用者の負担軽減を目的とする。			宇陀市予算			
			区分	No.	区分名	
			款	2	保険給付費	
			項	4	高額医療合算介護サービス等費	
			目	1	高額医療合算介護サービス費	
細目	1	高額医療合算介護サービス費				
根拠条例等	介護保険法第51条の2					
総合計画	第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち (1)高齢者福祉サービスの充実					
H25年度事業の概要	高額医療合算介護の対象者の減少が見込まれるため。			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
			使用料			
			国費	▲ 160		
			県費	▲ 100		
			市債			
			その他	▲ 332		
			一般財源	▲ 208		
			補正額	▲ 800		
			H25補正前予算額	8,325		
			H25現計予算額	7,525		
事業の成果	補正額=決算見込額-当初予算額 ・当初予算額 8,325,000円 ・決算見込額 7,525,000円 ・補正額 ▲800,000円					
事業の目標	介護サービス事業所に実地指導を行うなどして、介護報酬の点検をし給付の適正化に努める。			特定財源の状況		
				国庫負担金 現年度分介護給付費負担金 ▲160千円 支払基金交付金 現年度分介護給付費交付金 ▲232千円 県負担金 現年度分介護給付費負担金 ▲100千円 繰入金 現年度分介護給付費繰入金 ▲100千円		
備考						

事業区分	継続	事業名	特定入所者介護サービス事業			
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)			
			宇陀市予算			
事業の目的	要介護者で介護老人福祉施設など3施設入所とショートステイ利用者の食費と居住費について、低所得者の負担限度額と平均的な費用の差額を減免し、利用者の負担軽減を目的とする。			区分	No.	区分名
				款	2	保険給付費
				項	5	特定入所者介護サービス等費
				目	1	特定入所者介護サービス費
細目	1	特定入所者介護サービス費				
根拠条例等	介護保険法第51条の3					
総合計画	第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち (1)高齢者福祉サービスの充実					
H25年度事業の概要	当初見込を超える負担限度額認定件数の増加により、給付費が不足となるため。 【参考】前年度の同期間での比較 ・H24年4月～9月の件数 3,949件 ・H25年4月～9月の件数 4,030件			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	補正額＝決算見込額－当初予算額 ・当初予算額 192,889,000円 ・決算見込額 196,389,000円 ・補正額 3,500,000円			使用料		
				国費	525	
				県費	612	
				市債		
				その他	1,453	
				一般財源	910	
				補正額	3,500	
H25補正前予算額	192,889					
H25現計予算額	196,389					
事業の目標	介護サービス事業所に実地指導を行うなどして、介護報酬の点検をし給付の適正化に努める。			特定財源の状況		
				国庫負担金 現年度分介護給付費負担金 525千円 支払基金交付金 現年度分介護給付費交付金 1,015千円 県負担金 現年度分介護給付費負担金 612千円 繰入金 現年度分介護給付費繰入金 438千円		
備考						

平成 25 年度 宇陀市 介護保険事業特別会計

補正予算 [第 2 号] 事業別シート

事業区分	継続	事業名	償還金			
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)			
			宇陀市予算			
事業の目的	介護保険給付費及び地域支援事業費等の精算に伴い、国・県・支払基金への負担金の返還を行う。			区分	No.	区分名
				款	7	諸支出金
				項	1	償還金及び還付加算金
				目	2	償還金
細目	1	償還金				
根拠条例等	介護保険法					
総合計画	第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち (1)高齢者福祉サービスの充実					
H25年度事業の概要	平成24年度分の国庫負担金・県負担金及び支払基金交付金の精算に伴い、返還金が生じたため。 ①国庫負担金返還金 ・介護給付費負担金分 8,845,484円 ・地域支援事業交付金分 3,922,818円 ②県負担金返還金 ・介護給付費負担金分 6,471,078円 ・地域支援事業交付金分 1,961,409円 ③支払基金交付金 ・介護給付費負担金分 13,667,475円			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	$補正額 = 決算見込額 - 当初予算額 - 9月補正額$ ・当初予算額 1,000円 ・9月補正額 1,515,000円 ・決算見込額 36,384,264円 ・補正額 34,868,264円			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
一般財源	34,869					
補正額	34,869					
H25補正前予算額	1,516					
H25現計予算額	36,385					
事業の目標	介護保険事業特別会計に係る国庫負担金等を適正に管理する。			特定財源の状況		
備考						

事業区分	新規	事業名	簡易水道施設設備機器修繕		
所管課	501	水道部総務課 (水道局)	宇陀市予算		
事業の目的	落雷による故障の為、室生浄水場テレメーター、室生西部配水池避雷器、大宇陀岩室配水池警報設定器、菟田野佐倉高区配水池テレメーター・緊急遮断器・保安器、室生無山浄水場テレメーター・モデム・NTT回線の修繕取替、及び各水道施設の修繕。		区分	No.	区分名
			款	1	総務費
			項	1	総務管理費
			目	1	総務管理費
細目	1	総務管理費			
根拠条例等	「宇陀市簡易水道事業等に関する条例」「宇陀市簡易水道事業給水条例」				
総合計画	後期基本計画第3章第4節上下水道の整備				
H25年度事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●室生浄水場(8/16落雷)テレメーター設備 デジタル入力ユニット2台</li> <li>●西部配水池避雷器修繕(8/18落雷) 避雷器1台</li> <li>●岩室配水池警報設定器修繕(8/18落雷) 設定器1</li> <li>●佐倉高区配水池テレメーター修繕(8/30落雷) 水位計一式、緊急遮水システム制御盤一式取替</li> <li>●無山浄水場テレメーター・モデム(変調復調装置)取替(8/24落雷) NTT回線の修繕取替4台</li> <li>●各水道施設の修繕</li> </ul>		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	落雷による故障の緊急的修繕でテレメーター基盤等の焼損部分取替、ユニットの取替、テレメーター設備(モデム等)の修繕により機器を正常に戻し作動させる。		使用料		
			国費		
			県費		
			市債		
			その他	6,606	
			一般財源	1,690	
			補正額	8,296	
H25補正前予算額	14,508				
H25現計予算額	22,804				
事業の目標	設備機器を正常に作動させることにより、安全で安定した水の供給を図る。		特定財源の状況		
			全国自治協会建物災害共済金 6,606千円		
備考					

事業区分	継続	事業名	保養センター美榛苑事業(収益的収支)		
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		
事業の目的			宇陀市予算		
経営健全化計画の変更に伴い、一般会計からの繰入金を増額し、一時借入金元利償還を行うことで、美榛苑事業の安定的な運営を図る。			区分	No.	
			款	1	美榛苑事業費用
			項	4	予備費
			目	1	予備費
根拠条例等					
総合計画			基本計画 第5章 第4節 観光の振興 温泉を活用した観光施設の充実		
H25年度事業の概要			財源の内訳 (単位:千円)		
経営健全化繰入額 当初繰入額 100,000,000円 増加分 67,000,000円			分担金		
			使用料		
			国費		
			県費		
			市債		
			その他		
事業の成果			一般財源	67,000	
企業債等償還残額 企業債元利償還残額(平成24年度末) 元金 124,606,747円 利息 6,348,105円 合計 130,954,852円			補正額	67,000	
一時借入金 元金 1,358,000,000円(平成24年度末)			H25補正前予算額	64,184	
			H25現計予算額	131,184	
事業の目標			特定財源の状況		
宇陀市の観光の拠点施設として、利用者へのサービス向上を図ることにより、利用者の増加を目指すとともに、保養センター美榛苑の安定運営を図る。					
備考					

平成 25 年度 宇陀市 介護老人保健施設事業特別会計 補正予算 [第 1 号] 事業別シート

事業区分	新規	事業名	電灯LED化等事業(収益的収支)			
所管課		庶務課	(介護老人保健施設さんとびあ榛原)			
宇陀市介護老人保健施設事業特別会計予算						
事業の目的	・電灯をLED化し電気使用量を減らすことで、電気料金の削減を図る。 ・予算不足が見込まれる経費の充足を図る。			区分	No.	区分名
				款		
				項		
				目 細目		
根拠条例等						
総合計画						
H25年度 事業の概要	1. 収益的支出 施設運営事業費用内の補正の内訳 (1)給料費 $\Delta$ 7,000千円 ・育児休業の取得等による減額 (2)経費 7,000千円(増額) ・電灯の一部をLEDに交換するための修繕費 50台 2,000千円 ・光熱水費 3,000千円 ・燃料費 1,500千円 ・薬品費 500千円 2. 予算第7条において定めた「流用する場合は、議会の議決を経なければならない経費」である職員給与費を減額補正するため上程する。 3. 上記費用内の補正のため、当初予算額520,000千円に変更はない。			財源の内訳 (単位:千円)		
				介護報酬		
事業の成果	・電灯をLEDに交換することで、電気使用量を減らし、結果として電気料金の削減を図ることができる。			利用料		
				国費		
				県費		
				市債		
			繰入金			
			事業外収益			
			補正額			
			H25補正前予算額	520,000		
			H25現計予算額	520,000		
事業の目標	電灯のLED化を、経営状況を考慮しながら拡充していく。			特定財源の状況		
備考						